

第 I 部 総論

1 水道の普及状況

本県の水道普及率は、平成31年3月末現在で94.6%（総人口5,099千人に対して給水人口4,823千人）となっており、未給水人口は276千人となっています。

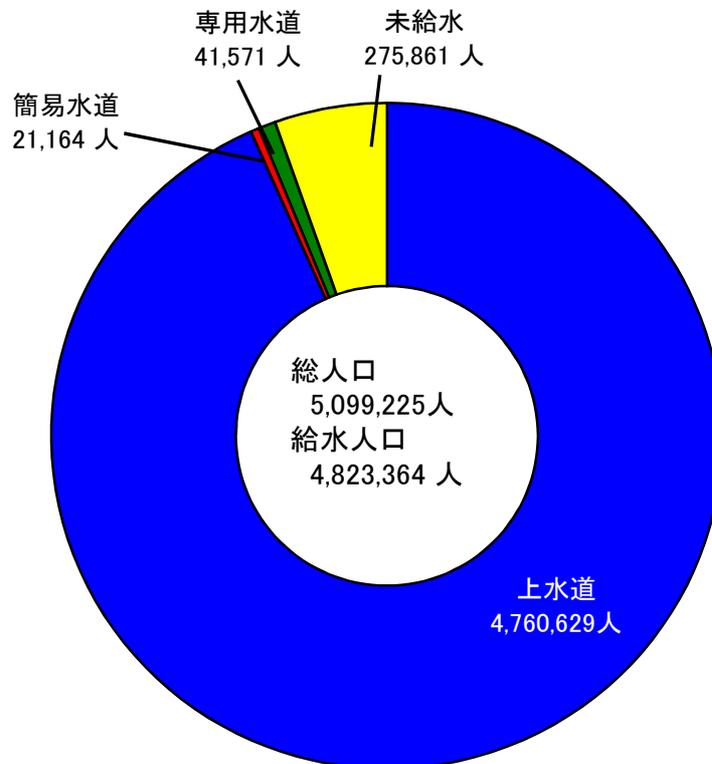
広域圏別の水道普及率は、福岡地区と北九州地区が96.4%と最も高く、次いで筑豊地区が95.6%、筑後地区が86.3%となっています。

また、給水人口の内訳は、上水道が4,761千人（98.7%）と大部分を占めており、次いで専用水道が41千人（0.9%）、簡易水道が21千人（0.4%）となっています。

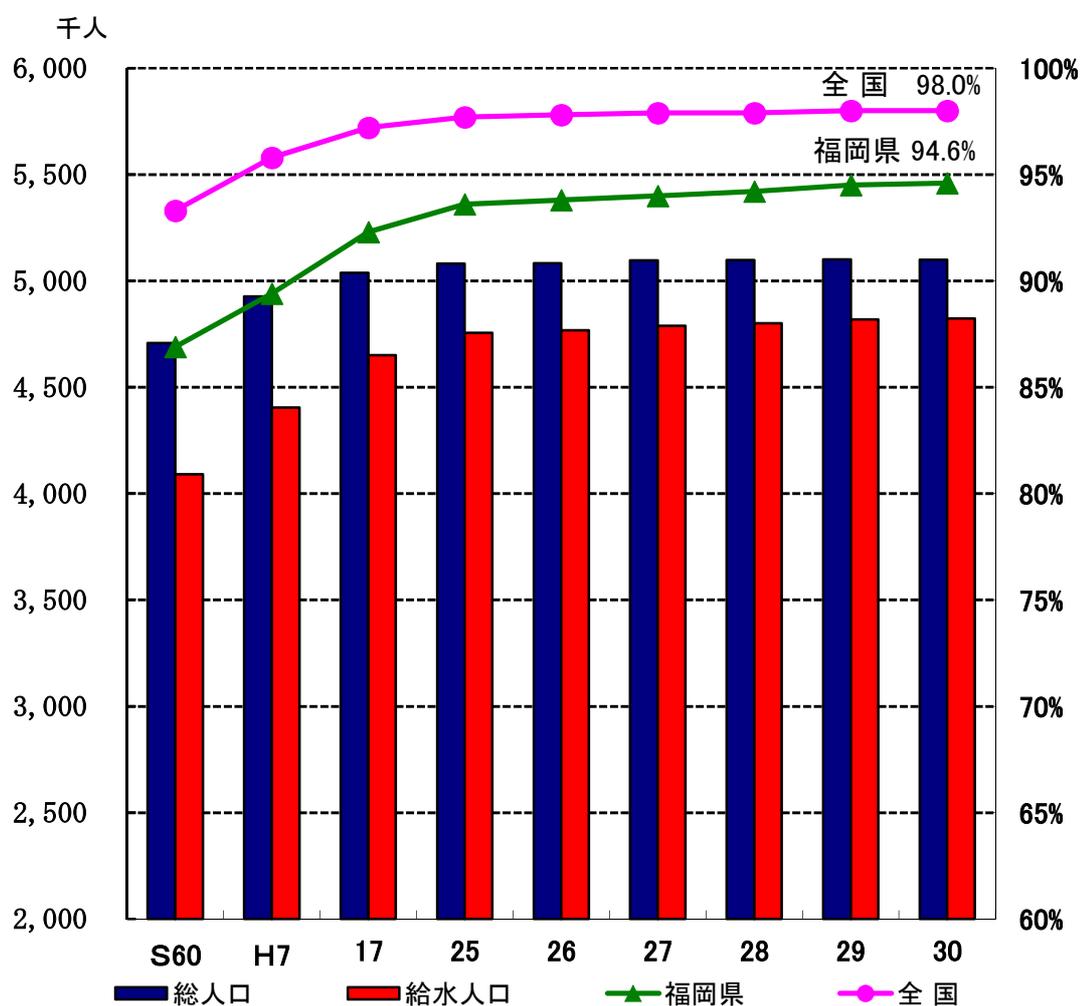
◎ 現在給水人口と普及率（平成31年3月末現在）

広域圏	総人口 (人)	現在給水人口 (人)			未給水人口 (人)	普及率
		上水道	簡易水道	専用水道		
福岡	2,567,460	2,474,611	2,457,636	1,571	15,404	96.4%
北九州	1,253,340	1,208,405	1,199,811	5,390	3,204	96.4%
筑後	876,601	756,160	728,729	8,324	19,107	86.3%
筑豊	401,824	384,188	374,453	5,879	3,856	95.6%
県計	5,099,225	4,823,364	4,760,629	21,164	41,571	94.6%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上



◎ 水道普及状況の推移



	S60	H7	17	25	26	27	28	29	30	
本県の総人口 (千人)	4,708	4,926	5,037	5,081	5,082	5,096	5,098	5,100	5,099	
本県の給水人口 (千人)	4,090	4,404	4,650	4,755	4,767	4,789	4,801	4,818	4,823	
普及率	福岡県	86.9%	89.4%	92.3%	93.6%	93.8%	94.0%	94.2%	94.5%	94.6%
	全国	93.3%	95.8%	97.2%	97.7%	97.8%	97.9%	97.9%	98.0%	98.0%

2 給水の状況

(1) 年間給水量

平成30年度の年間給水量は488,802千m³となっており、その大部分を上水道による給水が占めています(99.5%)。なお、年間給水量は前年度から131千m³増加しています。

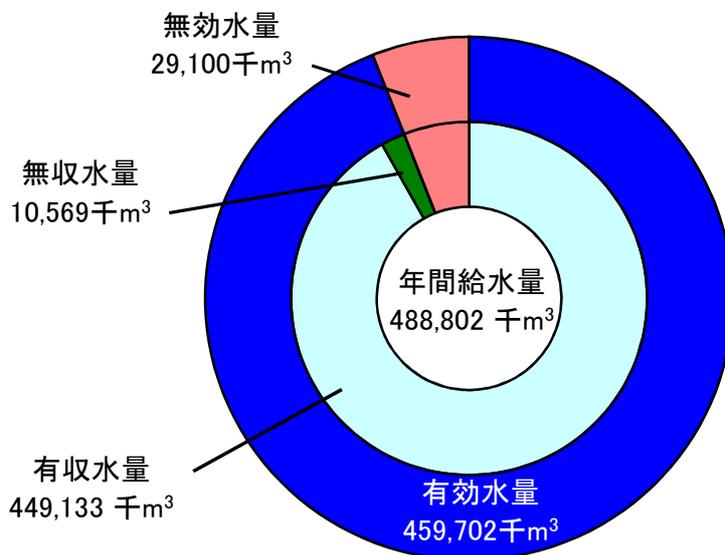
また、漏水などによる無効水量を除いた、年間給水量に対する有効水量の割合(有効率)は94.0%となっています。

◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

(単位:千m³)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	231,416	224,499	221,068	3,431	6,917	97.0%	95.5%
	北九州	134,658	124,003	120,894	3,109	10,655	92.1%	89.8%
	筑後	73,454	68,635	66,247	2,388	4,819	93.4%	90.2%
	筑豊	46,830	40,698	39,113	1,585	6,132	86.9%	83.5%
	計	486,358	457,835	447,322	10,513	28,523	94.1%	92.0%
簡易水道	福岡	143	140	139	1	3	97.9%	97.2%
	北九州	358	344	340	4	14	96.1%	95.0%
	筑後	1,060	838	793	45	222	79.1%	74.8%
	筑豊	883	545	539	6	338	61.7%	61.0%
	計	2,444	1,867	1,811	56	577	76.4%	74.1%
合計		488,802	459,702	449,133	10,569	29,100	94.0%	91.9%

※ 簡易水道の数値については、小数点以下を四捨五入しているため、合計値と一致しない



- 年間給水量 : 水道事業者が自己の給水区域に対して給水した実績水量 (有効水量+無効水量)
- 有効水量 : 水道の使用上有効とされた水量 (有収水量+無収水量)
- 有収水量 : 料金徴収の基礎となった水量
- 無収水量 : 料金徴収の対象とならなかった水量 (管洗浄用、公衆便所用等)
- 無効水量 : 水道の使用上無効とされた水量 (配水管からの漏水等)

(2) 用途別有収水量

上水道事業における有収水量の用途別内訳は、生活用が 358,778 千 m³、業務・営業用が 76,547 千 m³、工場用が 8,906 千 m³、その他が 3,085 千 m³となっており、生活用、業務・営業用がその大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量(上水道)

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	178,689	41,043	663	673	221,068
北九州	95,299	20,255	4,103	1,237	120,894
筑後	53,647	9,705	1,765	1,124	66,241
筑豊	31,143	5,544	2,375	51	39,113
計	358,778	76,547	8,906	3,085	447,316
構成比率	80.2%	17.1%	2.0%	0.7%	100.0%

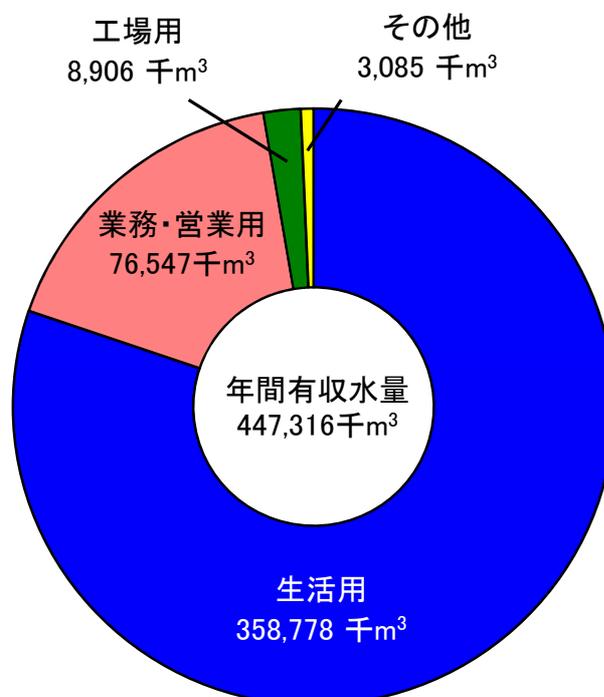
※ 用途区分は次のとおり

生活用：一般家庭用

業務・営業用：官公署、学校、病院、事務所、公衆浴場用、船舶用、共用栓等

工場用：工場用

その他：水道事業所用水、水道メーター不感水量等



(3) 平均給水量、最大給水量

平成 30 年度における一日平均給水量は 1,339 千 m³、一日最大給水量は 1,512 千 m³ となっています。

一人一日当たりでは平均給水量が 280 リットル、最大給水量が 316 リットルとなっており、広域圏別にみると、筑豊地区が最も多く、次いで北九州地区、筑後地区、福岡地区の順となっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 (m ³)	一人一日 (ℓ)	日最大 (m ³)	一人一日 (ℓ)
福岡	上水道	634,016	258	696,883	284
	簡易水道	391	249	692	440
	計	634,407	258	697,575	284
北九州	上水道	368,926	307	415,260	346
	簡易水道	982	182	1,459	271
	計	369,908	307	416,719	346
筑後	上水道	201,244	276	233,710	321
	簡易水道	2,905	349	3,696	444
	計	204,149	277	237,406	322
筑豊	上水道	128,301	343	157,115	420
	簡易水道	2,419	411	3,215	547
	計	130,720	344	160,330	422
県計	上水道	1,332,488	280	1,502,968	316
	簡易水道	6,696	316	9,062	428
	計	1,339,184	280	1,512,030	316
全国	上水道	-	332	-	379

※県計の数値については、小数点以下を四捨五入しているため、合計値と一致しない

○ 平均給水量

- ・ 日平均：年間給水量 ÷ 365日(1年)
- ・ 一人一日：日平均給水量 ÷ 給水人口

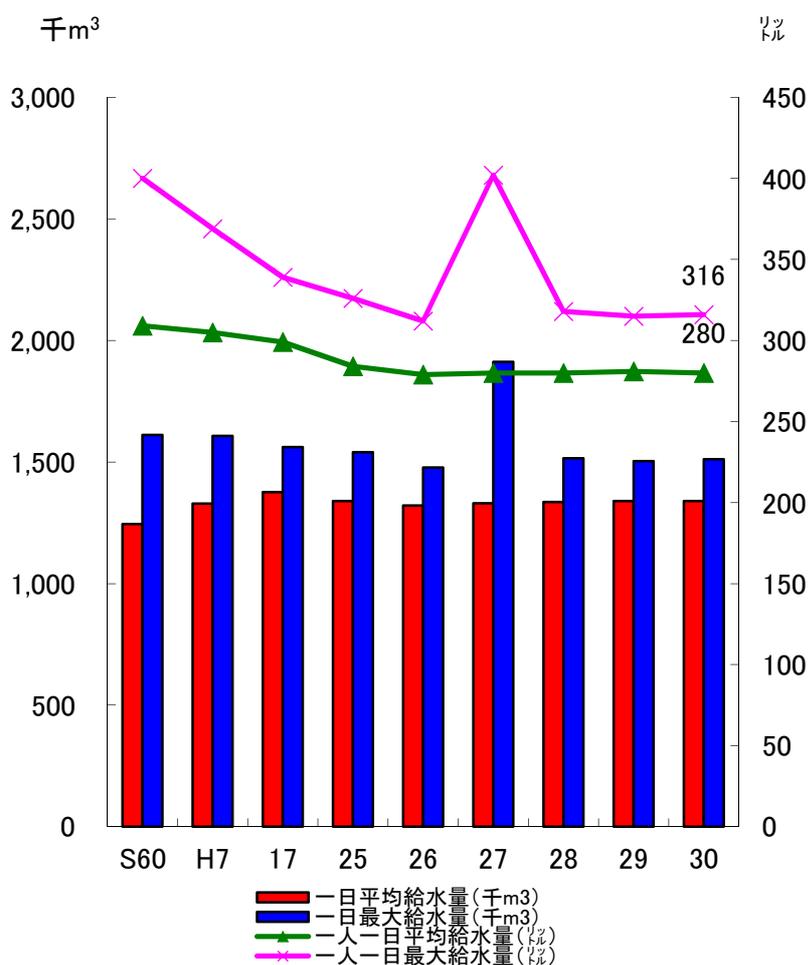
○ 最大給水量

- ・ 日最大：水道事業者ごとの日最大給水量の合計
- ・ 一人一日：日最大給水量 ÷ 給水人口

※ 全国は平成 29 年度末の値(本資料作成時点で平成 30 年度値は未公表)

一日最大給水量、一人一日最大給水量は、平成28年1月の記録的寒波に伴う給水管の凍結・破損等による漏水の影響で一時的に増加した平成27年度を除き、ほぼ横ばいで推移しています。一日平均給水量・一人一日平均給水量については、近年、ほぼ横ばいで推移しています。

◎ 一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量の推移(上水道、簡易水道)



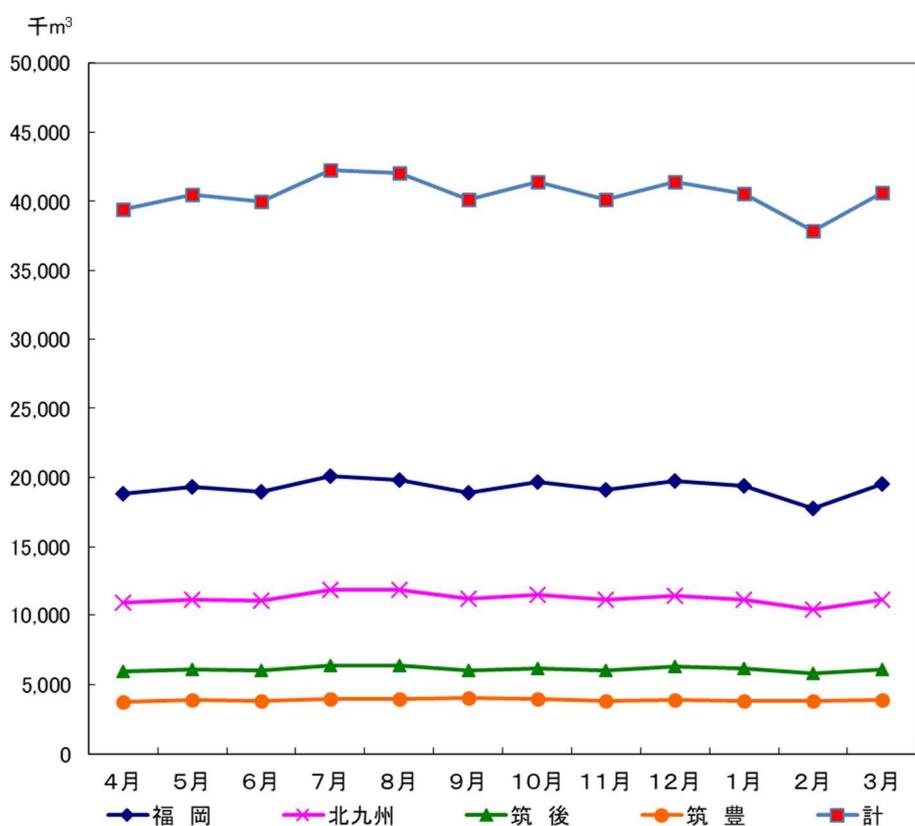
区分 \ 年度	S60	H7	17	25	26	27	28	29	30
一日平均給水量(千m³)	1,245	1,329	1,376	1,339	1,321	1,331	1,335	1,339	1,339
一日最大給水量(千m³)	1,611	1,607	1,562	1,540	1,477	1,912	1,516	1,504	1,512
一人一日平均給水量(ℓ)	309	305	299	284	279	280	280	281	280
一人一日最大給水量(ℓ)	400	369	339	326	312	402	318	315	316

(4) 月別給水量

平成30年度の上水道事業における月別給水量の最大値は7月の42,294千 m^3 であり、最小値は2月の37,870千 m^3 となっています。

広域圏別にみると、福岡地区の最大値は7月の20,090千 m^3 、最小値は2月の17,812千 m^3 、北九州地区の最大値は8月の11,861千 m^3 、最小値は2月の10,402千 m^3 、筑後地区の最大値は7月の6,402千 m^3 、最小値は2月の5,795千 m^3 、筑豊地区の最大値は9月の4,024千 m^3 、最小値は4月の3,734千 m^3 となっています。

◎ 月別給水量(上水道)

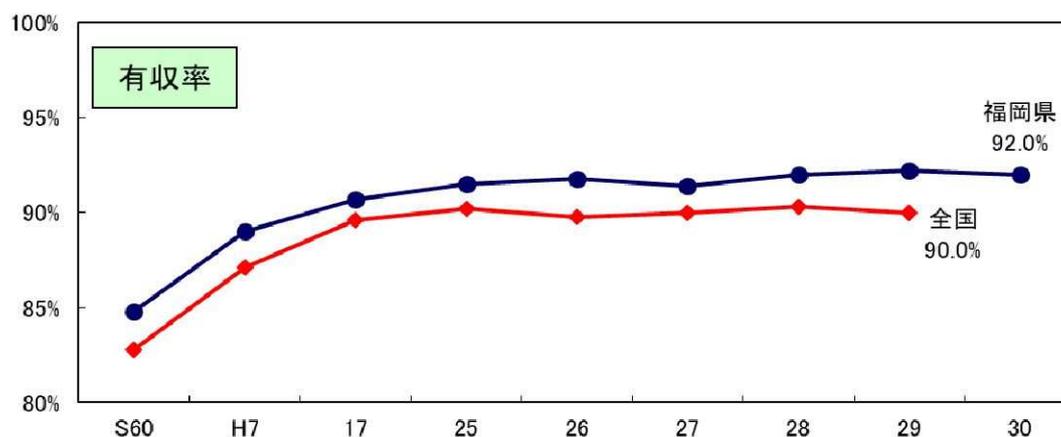
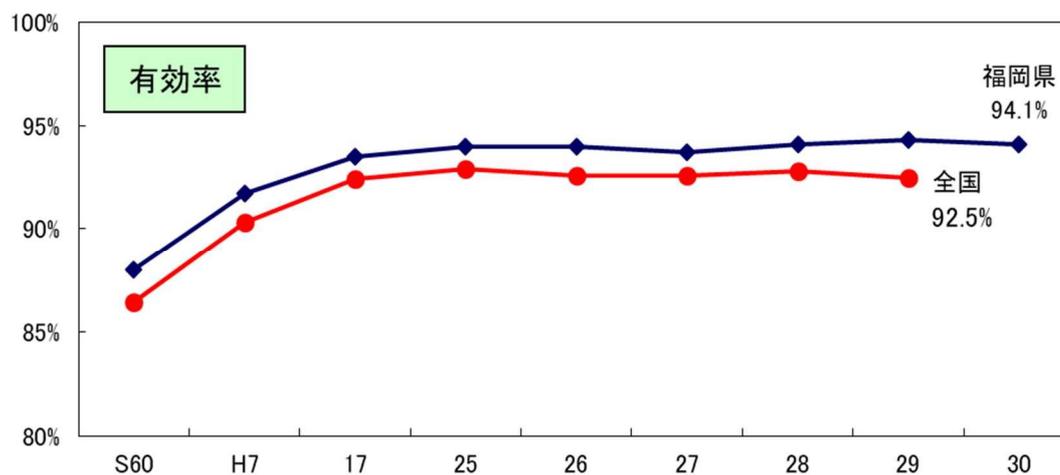


広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	18,820	19,365	18,993	20,090	19,836	18,920	19,714	19,122	19,790	19,440	17,812	19,520	231,422
北九州	10,910	11,140	11,072	11,813	11,861	11,175	11,471	11,121	11,438	11,143	10,402	11,112	134,658
筑後	5,932	6,093	6,039	6,402	6,373	6,000	6,206	6,053	6,308	6,153	5,795	6,100	73,454
筑豊	3,734	3,894	3,870	3,989	3,969	4,024	3,993	3,843	3,909	3,862	3,861	3,882	46,830
計	39,396	40,492	39,974	42,294	42,039	40,119	41,384	40,139	41,445	40,598	37,870	40,614	486,364

(5) 有効率、有収率

上水道事業における平成 30 年度の有効率は 94.1%、有収率は 92.0%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移(上水道)



		S60	H7	17	25	26	27	28	29	30
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	93.5%	94.0%	94.0%	93.7%	94.1%	94.3%	94.1%
	全国	86.4%	90.3%	92.4%	92.9%	92.6%	92.6%	92.8%	92.5%	未公表
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	90.7%	91.5%	91.8%	91.4%	92.0%	92.2%	92.0%
	全国	82.8%	87.1%	89.6%	90.2%	89.8%	90.0%	90.3%	90.0%	未公表

○ 有効率：年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度有効に使用されているかを示す指標

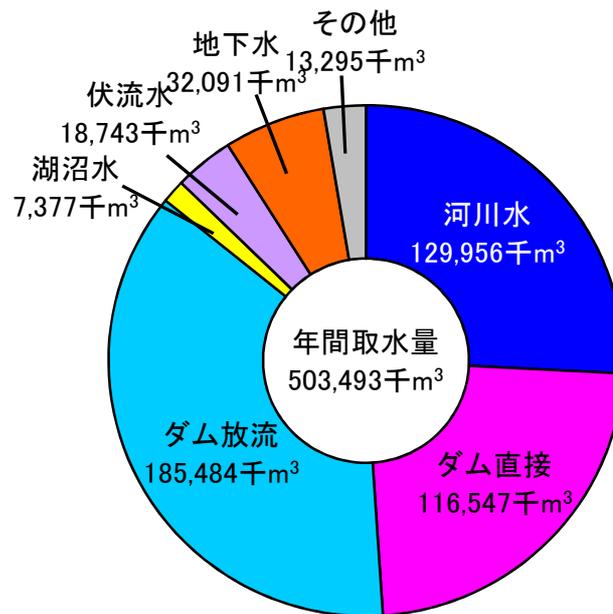
○ 有収率：年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標

※ 本資料作成時点で、全国の平成 30 年度値は未公表

3 取水の状況

平成 30 年度における上水道事業及び水道用水供給事業の年間取水量は合わせて 503,493 千 m³ で、その大部分を表流水(河川水、ダム直接、ダム放流及び湖沼水)からの取水が占めています(87.3%)。

◎ 年間取水量の内訳(上水道、水道用水供給)



◎ 年間取水量の推移(上水道、水道用水供給)

(単位:千m³)

年 度	S60	H7	17	25	26	27	28	29	30
河 川 水	116,791	163,039	129,617	120,143	113,648	111,554	122,196	137,947	129,956
ダム 直 接	131,761	113,409	109,365	115,216	128,638	137,185	132,087	108,950	116,547
ダム 放 流	134,891	120,667	165,716	176,168	166,278	172,500	168,761	177,066	185,484
湖 沼 水	5,537	7,981	9,327	6,681	6,459	6,599	6,426	6,798	7,377
伏 流 水	22,736	24,389	31,518	22,729	21,033	15,968	17,266	19,356	18,743
地 下 水	47,998	56,701	49,135	39,794	38,963	35,865	32,782	33,887	32,091
そ の 他	1,003	1,429	24,138	15,399	21,723	15,476	14,888	15,551	13,295
(海水淡水化)	-	-	(23,497)	(14,597)	(20,905)	(14,809)	(14,281)	(14,984)	(12,728)
計	460,717	487,615	518,816	496,130	496,742	495,147	494,406	499,555	503,493

※ その他欄の()は、海水淡水化施設で内数。(平成17年度以降)

4 財務の状況

(1) 総収益と総費用

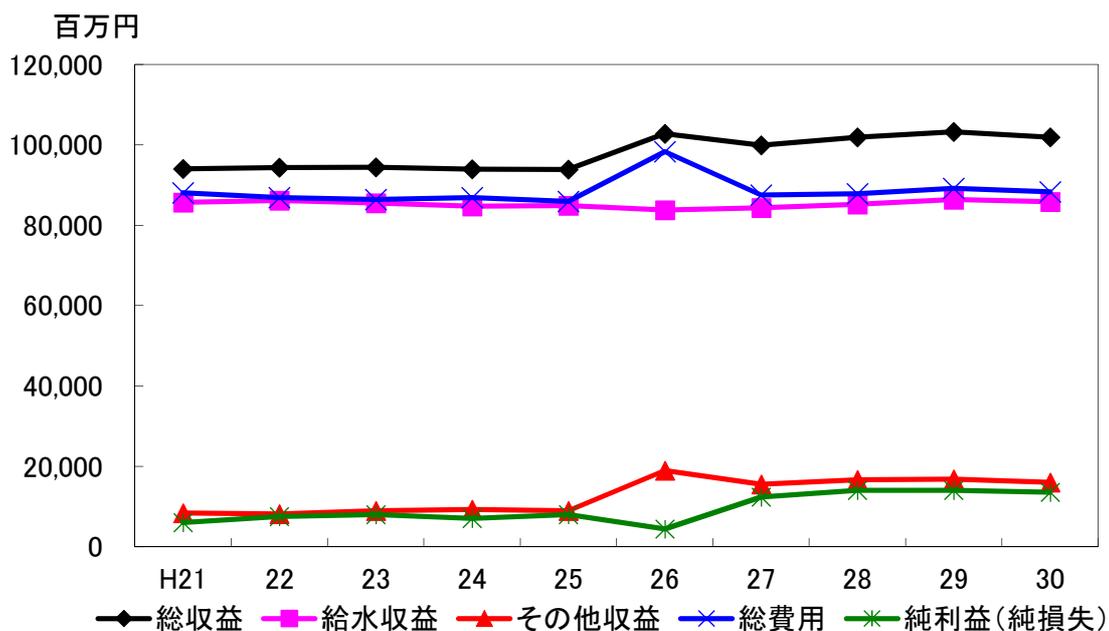
平成 30 年度における上水道事業の総収益は 1,019 億円となっており、前年度から 13 億円減少しています。また、総費用は 883 億円となっており、前年度から 9 億円減少しています。

なお、総収益から総費用を差し引いた純利益は 135 億円となっており、前年度から 5 億円減少しています。

◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

(単位:千円)

年度	総 収 益 (A)		総 費 用 (B)	純 利 益 (A)-(B)
	給水収益	その他収益		
H21	94,048,911	85,699,480	88,084,623	5,964,288
22	94,376,472	86,197,403	86,888,804	7,487,668
23	94,415,833	85,491,831	86,423,294	7,992,539
24	93,967,231	84,698,569	86,907,512	7,059,719
25	93,839,680	84,873,833	85,887,029	7,952,651
26	102,736,917	83,751,903	98,336,934	4,399,983
27	99,874,383	84,340,771	87,490,321	12,384,062
28	101,890,149	85,209,051	87,865,838	14,024,311
29	103,221,174	86,379,209	89,173,044	14,048,130
30	101,854,515	85,858,864	88,330,104	13,524,411



(2) 費用構成

平成30年度の上水道事業における費用構成をみると、減価償却費と受水費がその約半分を占めています。

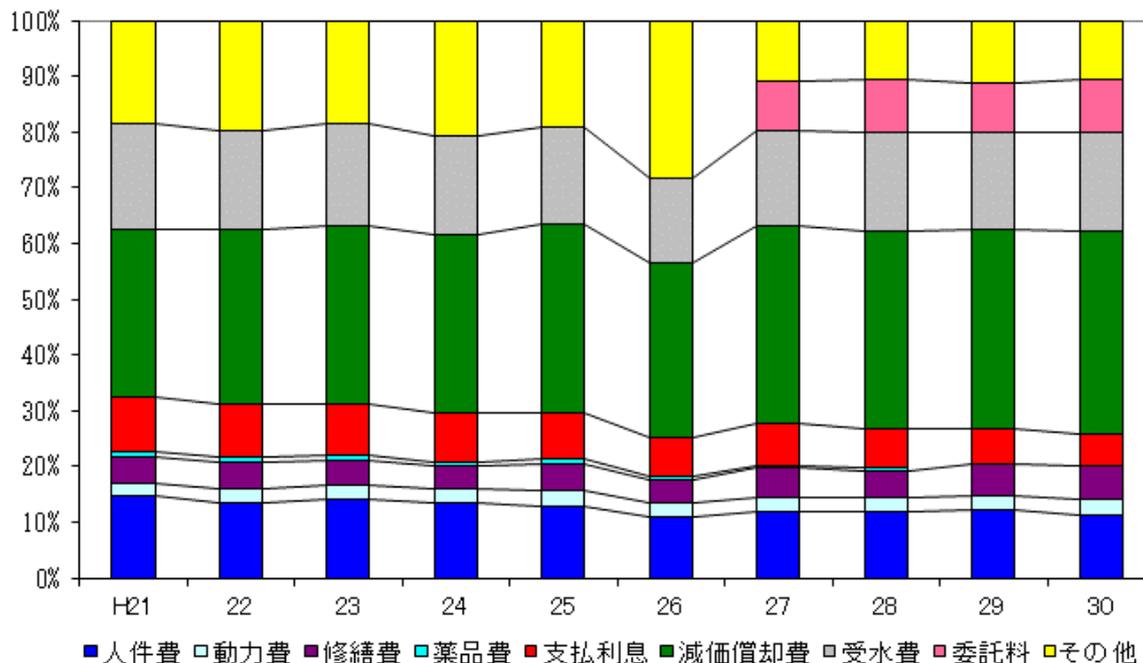
また、減価償却費は増加傾向にあります。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位:千円)

年 度	H21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
人件費	12,753,005 (14.6%)	11,583,672 (13.4%)	12,163,184 (14.2%)	11,586,512 (13.3%)	10,918,837 (12.8%)	10,572,446 (10.8%)	10,161,902 (11.7%)	10,349,162 (11.9%)	10,580,614 (12.0%)	9,816,677 (11.2%)
動力費	2,135,244 (2.4%)	2,128,387 (2.5%)	2,151,859 (2.5%)	2,247,557 (2.6%)	2,456,538 (2.9%)	2,515,888 (2.6%)	2,372,793 (2.7%)	2,226,399 (2.6%)	2,450,891 (2.8%)	2,492,787 (2.8%)
修繕費	4,031,509 (4.6%)	4,172,701 (4.8%)	3,728,859 (4.4%)	3,593,901 (4.1%)	4,046,637 (4.8%)	4,029,054 (4.1%)	4,460,436 (5.2%)	4,222,599 (4.8%)	4,968,166 (5.6%)	5,088,239 (5.8%)
薬品費	847,235 (1.0%)	823,165 (1.0%)	652,646 (0.8%)	628,482 (0.7%)	639,937 (0.8%)	564,837 (0.6%)	507,302 (0.6%)	477,299 (0.5%)	542,257 (0.6%)	589,114 (0.7%)
支払利息	8,570,961 (9.8%)	8,201,306 (9.5%)	7,854,700 (9.2%)	7,551,342 (8.7%)	7,219,461 (8.5%)	6,832,256 (7.0%)	6,422,951 (7.4%)	5,950,415 (6.8%)	5,481,125 (6.2%)	5,040,174 (5.8%)
減価償却費	26,235,553 (30.1%)	26,946,549 (31.2%)	27,436,205 (32.1%)	27,973,733 (32.2%)	28,588,867 (33.6%)	30,584,689 (31.3%)	30,727,993 (35.5%)	31,074,868 (35.6%)	31,360,034 (35.5%)	31,503,024 (36.0%)
受水費	16,449,304 (18.9%)	15,330,453 (17.8%)	15,679,005 (18.3%)	15,404,023 (17.7%)	14,841,081 (17.4%)	14,845,990 (15.2%)	14,880,467 (17.2%)	15,457,379 (17.7%)	15,477,065 (17.5%)	15,639,878 (17.9%)
委託料							7,461,594 (8.6%)	8,196,093 (9.4%)	7,576,672 (8.6%)	8,049,050 (9.2%)
その他	16,202,508 (18.6%)	17,113,673 (19.8%)	15,910,362 (18.6%)	17,910,553 (20.6%)	16,389,179 (19.3%)	27,773,301 (28.4%)	9,556,905 (11.0%)	9,244,517 (10.6%)	9,973,579 (11.3%)	9,288,964 (10.6%)
計	87,225,319 (100.0%)	86,299,906 (100.0%)	85,576,820 (100.0%)	86,896,103 (100.0%)	85,100,537 (100.0%)	97,718,461 (100.0%)	86,552,343 (100.0%)	87,198,731 (100.0%)	88,410,403 (100.0%)	87,507,907 (100.0%)

※平成27年度から「委託料」が、統計項目として追加された。(平成26年度までは「その他」に含まれていたもの。)



5 水道料金（上水道）

水道料金は水道事業者ごとに設定されています。

平成31年3月末現在における家庭用1ヶ月20m³の水を使用した際の料金に対する事業数の分布は下記の表のとおりです。また、県平均の水道料金は3,722円となっています。

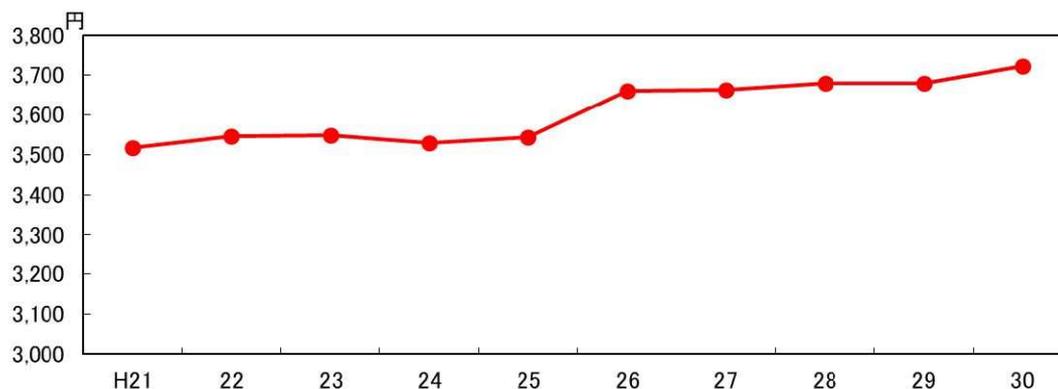
◎ 家庭用1ヶ月20m³当たりの水道料金（上水道）

◎ 家庭用1ヶ月20m³当たりの水道料金（上水道）

（平成31年3月31日現在）

区 分	事業体数
2,000円以上～2,500円未満	4
2,500円以上～3,000円未満	6
3,000円以上～3,500円未満	5
3,500円以上～4,000円未満	18
4,000円以上～4,500円未満	12
4,500円以上	5

◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用1ヶ月20m³当たり）



（単位：円）

年度	H21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
福岡県	3,518	3,546	3,549	3,529	3,543	3,661	3,663	3,681	3,681	3,722

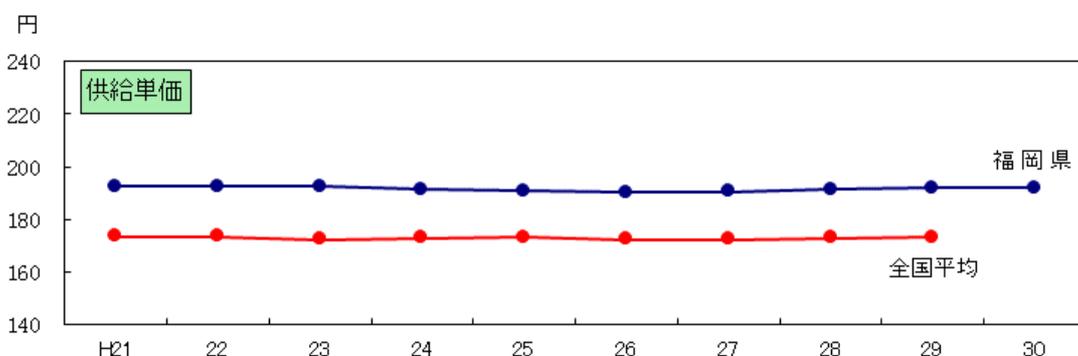
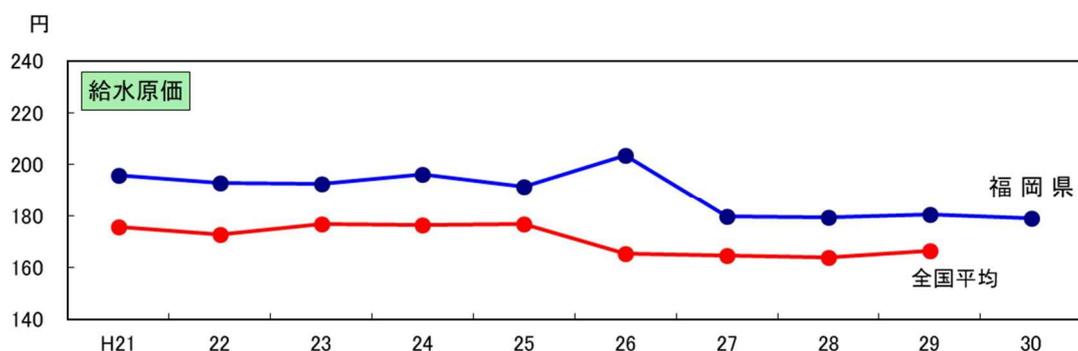
※ 基礎料金・メーター使用料を含む
 全国平均（平成30年度）：3,226円

6 給水原価と供給単価（上水道）

平成 30 年度における上水道事業の給水原価及び供給単価はそれぞれ 179.06 円/m³ 及び 191.94 円/m³ となっています。

また、いずれも全国平均を上回って推移し、近年は横ばい傾向を示しています。

◎ 給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位: 円/m³)

年度		H21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
給水原価	福岡県	195.97	192.86	192.62	196.36	191.35	203.39	179.74	179.17	180.20	179.06
	全国平均	175.47	172.65	176.78	176.26	176.51	165.13	164.40	163.85	166.41	未公表
供給単価	福岡県	192.54	192.64	192.43	191.39	190.84	190.32	190.64	191.25	191.83	191.94
	全国平均	173.51	173.46	172.47	172.95	173.12	172.34	172.47	172.80	173.33	未公表

○ 給水原価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。

○ 供給単価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表すもの。

※ 本資料作成時点で、全国平均の平成 30 年度値は未公表